

平成28年2月定例会 県土整備委員会（付託）

平成28年3月4日（金）

〔委員会の概要 企業局関係〕

井川委員長

ただいまから、県土整備委員会を開会いたします。（10時33分）

直ちに、議事に入ります。

これより、企業局関係の審査を行います。

企業局関係の付託議案については、さきの委員会において、説明を聴取したところではありますが、この際、理事者側から追加提出議案について説明願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【追加提出議案】（資料①）

- 議案第89号 平成27年度徳島県電気事業会計補正予算（第3号）
- 議案第90号 平成27年度徳島県工業用水道事業会計補正予算（第1号）

【報告事項】

な し

酒池企業局長

今議会に追加提出させていただきました、徳島県電気事業会計及び、工業用水道事業会計の平成27年度補正予算につきまして、御説明申し上げます。

お手元の県土整備委員会説明資料（その3）の1ページをお開きください。

平成27年度徳島県電気事業会計補正予算についてでございます。

まず、（1）業務の予定量のア、供給電力量でございますが、今年度は、当初予定しておりました供給電力量に比べまして、水力発電所で3,659万7,000キロワットアワーの増加となります3億6,289万7,000キロワットアワーを、また太陽光発電所で62万7,260キロワットアワーの増加となります531万9,260キロワットアワーを予定しております。

イ、建設改良費につきましては、既設設備改良工事で538万2000円の減額となります18億3,750万2,000円を予定しております。

次に、2ページから3ページの（2）収益的収入及び支出についてでございます。

まず、2ページの収入といたしまして、水力発電電力料の増額6,245万円など、補正前に比べまして、収入全体で9,252万7,000円の増額となります32億1,114万8,000円を計上いたしております。

次の、3ページの支出としまして、消費税及び地方消費税の増額1億142万6,000円、人件費の減額6,019万円など、補正前に比べまして支出全体で1,959万9,000円の増額となります29億4,911万円を計上いたしております。

以上、記載はございませんが、収入の計から支出の計を差し引きました純利益としまし

て、補正前に比べまして7,292万8,000円の増額となります、2億6,203万8,000円を予定しております。

続きまして、4ページをお開きください。

（3）資本的収入及び支出についてでございます。

収入は該当ございません。

支出としまして、建設改良費の減額538万2,000円、補正前に比べまして、支出全体でも同額の減額となります27億9,550万2,000円を計上いたしております。

なお、この支出額につきましては、過年度分損益勘定留保資金などで補てんすることとしております。

次の、5ページでございますが、議会の議決を経なければ流用することのできない経費といたしまして、職員給与費を補正前に比べまして6,019万円減額するものでございます。

続きまして、6ページをお開きください。

平成27年度徳島県工業用水道事業会計補正予算についてでございます。

まず、（1）業務の予定量でございますが、年間総給水量の計が9万1,800立方メートル増加の6,649万1,520立方メートル、一日平均給水量の計が251立方メートル増加の18万1,671立方メートルを予定しております。

また、建設改良工事につきましては、吉野川北岸と阿南の両工業用水道の合計で、2億7,418万5,000円の減額となります、8億2,378万8,000円を予定しております。

次に、7ページから8ページの（2）収益的収入及び支出についてでございます。

まず、7ページの収入としまして、給水収益の増額158万7,000円、雑収益の減額210万7,000円など、補正前に比べまして収入全体で42万3,000円の減額となる11億8,250万9,000円を計上いたしております。

続きまして、8ページをお開きください。支出としまして、人件費の減額4,613万円など、補正前に比べまして支出全体で9,405万2,000円の減額となります、9億9,158万円を計上いたしております。

以上、記載はございませんが、収入の計から支出の計を差し引きました純利益としまして、補正前に比べまして9,362万9,000円の増額となります、1億9,092万9,000円を予定しております。

続きまして、9ページから10ページの（3）資本的収入及び支出についてでございます。

まず、9ページの収入としまして、その他収入の増額343万7,000円など、補正前に比べまして、収入全体で295万9,000円の増額となります、9億353万6,000円を計上いたしております。

続きまして、10ページを御覧ください。

支出としまして、建設改良費の減額2億7,418万5,000円、補正前に比べまして、支出全体でも同額の減額となります10億569万4,000円を計上いたしております。

以上、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額、1億215万8,000円につきましては、減債積立金で補てんすることとしております。

次の11ページでございますが、議会の議決を経なければ流用することのできない経費と

して、職員給与費を補正前に比べまして、4,613万円減額するものでございます。

以上で、今議会に追加提出させていただきました徳島県電気事業会計及び、工業用水道事業会計の平成27年度補正予算の説明を終わらせていただきます。

御審議の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

井川委員長

以上で、説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

喜多委員

川口ダムのスマート回廊地域創造事業についてお尋ねします。

地元の杉本委員さんがいらっしゃいますけれども、お許しを頂いて、去年の6月議会でも質問させていただきましたので、その続編ということで質問をしたいと思います。

去年の6月議会で自然エネルギーミュージアムの概要と来館の見込み数と補正予算の内容ということで質問をさせていただきました。そして、それは子供のころから環境学習の大切さをしっかりと、良いものを造って小学生、中学生をはじめ、多くの人に見てもらえるようにということ等々のお願いをいたしました。

そこで今回、来年度の予算ということで出されましたスマート回廊地域創造事業とはどのようなものであるかということで質問します。

あわせて、来年度の予算の概要と債務負担行為についてもお尋ねいたします。

川真田経営企画戦略課長

ただいま、喜多委員のほうからスマート回廊創造事業の概要についての御質問がございました。川口ダム自然エネルギーミュージアムを核といたしますダム湖、あじさい湖と申しますが、その周遊路を自然エネルギーが効率よく利用できるスマートシティとかけましてスマート回廊ということで名づけております。

目的といたしましては、ミュージアムを活用することで自然エネルギーの大切さや最先端の技術を次代を担う子供たちに見て触れて感じてもらい、楽しみながら学んでいただき、自然エネルギーの普及と未来を切り拓く人材を育成することとしております。

また、ミュージアムを核にダム湖周辺地域で地元の町とか企業などと協力連携を行い、新たな人の流れを生み出すための様々な取組を行うことで那賀川水系からの地方創生につなげるものでございます。

具体的なミュージアム事業の内容といたしましては、ダム管理所の1階を改造いたしまして、映像展示室と環境学習室の二つを設けるということでございます。常設の映像展示室ではチームラボ制作によりますデジタルアートによる自然エネルギーに係る映像展示、環境学習室では水素発生実験装置でありますとか、あるいは太陽光、水力、風力による自然エネルギー発生キット、60インチの4Kモニターによる映像放映、コミュニケーション

ロボットによる施設の紹介，燃料電池車の展示等を考えております。また，屋外においては太陽光，水力，小水力，風力の各発電施設の見学，あるいは実際に使っておりました本物の水車ランナーを展示することといたしております。

続きまして，予算の概要ということでございますが，平成28年度当初予算といたしまして8,597万6,000円を計上させていただいているところでございます。予算の概要といたしましては，ミュージアムスタッフの委託費が1,500万円，60周年記念イベント関係が1,479万8,000円，相生森林美術館展示委託料が1,000万円，実行委員会負担金，巡回バス等を手配しますので，それが814万4,000円等々でございます。主にソフト事業に使わせていただくということでございます。

次に，債務負担行為についての御質問がございました。債務負担行為については川口ダム案内誘導用ロボットの賃貸借契約として，平成29年度から平成31年度までで429万円を限度額としています。燃料電池自動車の賃貸借契約としては，平成29年度から平成33年度までの900万円を限度とする債務負担行為でございます。

#### 喜多委員

盛りだくさんな計画ということで，子供にとって本当に夢があるすばらしい計画予算だろうと思います。

そこで，コミュニケーションロボットとか，今話がありましたスマートコミュニティの実践ということで，燃料電池車という話がございました。そこで，今の債務負担行為のコミュニケーションロボットを導入するということですが，どのようなロボットで，このロボットで何をするのか，改めてお尋ねしたいと思います。

#### 川真田経営企画戦略課長

どのようなロボットを購入してどのように使うのかという御質問がございました。まず，導入の目的といたしましては，川口ダム自然エネルギーミュージアムのテーマの一つであります先進技術が子供たちが実感し，夢を持ち，一歩先の未来体験をしていただくため，人とのコミュニケーションを行うことができ，各施設における施設紹介が可能な人工知能搭載のロボットを導入することとしております。

それで，具体的な使用方法といたしましては，ロボット自体の本体にセンサーが内蔵されておりまして，来館者が来るとそれを感知しましてロボットのほうから話しかけるといったもの，あるいは，ロボットが会話の中でキーワードを判定しまして，あらかじめ登録しておりました言葉から最適なものを抽出して回答をするということで，会話機能を備えております。

また，ロボットを2体置きますと，掛け合いでの会話もできる。さらに，阿波踊りなんかのジェスチャーもできるというものでございます。川口ダム自然エネルギーミュージアムに対しては2体置かせていただき，それ以外の那賀町の施設の相生森林美術館でございませうとか，道の駅もみじ川温泉，道の駅鷺の里等については那賀町のほうでまた設置について調整をしていただいております。

また、大塚製薬徳島ワジキ工場のほうでも設置について今検討をさせていただいています。

#### 喜多委員

徳島で人工知能を搭載したロボットというのは初めてではないかなと思っております。子供が本当に喜んで、楽しんで、それによって科学技術のすばらしさを体感することによって徳島からすばらしい人材が育ってほしいなということを思っております。

そこで、改めて今話がありました、ロボットの案内でミュージアムを回るということで、それについての詳しい今後のスケジュールの内容について、改めてお尋ねいたします。

#### 川真田経営企画戦略課長

今、ロボットの設置のスケジュールといたしまして、現在、プロポーザルでロボットの公募をしているところでございます。それで、ロボットがプロポーザルによって決定いたしましたら、県におきまして3体を購入するということにしております。それで県のほうで購入に関してはプログラムも県のほうで対応し、各市町村の施設でありますとか、あるいは大塚製薬徳島ワジキ工場での購入が導入しやすいような仕組みで、順次回廊全体でロボットを設置してマスコットとして使っていただくということを考えている次第でございます。

#### 喜多委員

とりあえず3体を購入というか導入するということで、順次、今話がありましたように大塚製薬とか那賀町とかで広げていくということです。繰り返しになりますけれども、徳島で初のロボットということで、前、阿波踊りのとき、一昨年だったんですか、阿波踊りができるロボットということで、知事と阿波踊りを共演ということがありました。それはもちろん踊るだけということで、今度は会話ができるということも、子供にとっても、大人もですけれども、夢があるような企画でこれからはずっとずっと続けてほしいなということを思います。

それで、今、せっかくこのようなすばらしい施設を造って人工知能のロボットを導入しますけれども、できたら県内の全ての小学校を中心に、できたら中学校もですけれども、行ってほしいし、併せてこのすばらしい自然の中の自然エネルギーミュージアムということでエネルギー、そして環境学習の大切さを勉強してほしいなということを切に思う次第でございます。

それで、前も質問もしましたけれども、どのように小学生、そしてできたら中学生もその施設に行ってもらおうかということを計画してほしいと思いますけれども、お尋ねをいたします。

#### 川真田経営企画戦略課長

ただいま、委員のほうから子供たちが訪れるような仕組みづくりをどのように行っているのかという御質問がございました。企業局といたしましてはより多くの子供たちに来館

いただくため、遠足などの学校行事の予定が年度初めに決定されることを踏まえまして、2月下旬に県教育委員会を通じまして次年度の学校行事に組み入れてもらえるように県内の小学校、中学校、支援学校全てに学校行事への活用を依頼したところでございます。

なお、今後におきましては予算等を御承認いただきましたら周知のチラシとかポスターを作製いたしまして、年度始めに開催される校長会などにも参加をさせていただきまして、あらゆる機会を活用いたしまして皆様に来館いただけるように働きかけを行ってまいりたいというふうに考えております。

さらに、子供たちの保護者となる大人の方々にも、企業局はもとより県の広報媒体の活用をはじめ、パブリシティということでプレスリリースなどを通じましてメディアの方々に記事として事業内容を取り上げてもらう活動等を積極的に行うことや、関係団体との連携協力によりまして様々な媒体、機関を通じて周知をしっかりと行っていきたいというふうに考えております。具体的には企業局のホームページでありますとかSNS、フェイスブック、ツイッターによる情報発信、あるいはポスター、チラシの作製、地元ケーブルテレビを活用して広報に努めていきたいというふうに考えております。

それと、県内にとどまらず、これに加えまして連携します日本科学未来館のクラブMirai Kan会員が平成28年2月現在で2,000名ほどおられますけれども、こちらに対しても体験学習でありますとか、あるいは公営で水力発電の出力が日本一となります日野谷発電所の施設見学会等の魅力ある企画を提案いたしまして、来館を促すような取組も行っていきたいというふうに考えておるところでございます。

## 喜多委員

今、答弁がありましたように自然エネルギーの本当に大切さとか、ロボットを使った最先端の科学技術子供たちにわかりやすく伝えるということで、環境教育推進ということからも日本を支える科学者、技術者の育成ということからもすごい企画だろうと思います。

また、今の答弁でありましたように、この施設と併せて、ダム湖周辺の施設とそして日本科学未来館とも連携して、クラブ未来館2,000名との連携もして、県内外はもちろんのこと、東京等の交流人口増加による地方創生にもつながってくるのではなからうかと思えます。これからまだ一部だろうと思いますけれども、この実施に向かって、設置に向かって、導入に向かって頑張ってもらいたいと思います。

そして、また答弁がありましたように小学校、中学校、そして保護者も含めて大人全ての人にも見てもらうように教育委員会としっかり連携をして、遠足等の行事にも組み入れるようにするというので、このロボットを使った新しい施設が徳島県からひょっとしたら出てほしいという、ノーベル賞候補にもなってほしい、一端にもつながってほしいなということを思います。川口湖、このミュージアム、市内からだったら遠いようで近い施設でございますので、しっかりとこれからは取り組んでいただいて、杉本委員さんの先導によって、もう日に日にあふれるぐらいの人になるように頑張ってもらいたいということを要望して終わります。

## 岩丸委員

今、喜多委員とも若干重なるわけではありますが、私も去年の9月の議会質問において自然エネルギーのことについても質問をさせていただきました。そういったことで、自然エネルギーの導入に関連して少しお伺いしたいと思います。

国の動きに関連して県のほうでも新たな導入目標を掲げて、自然エネルギーの取組を進めているところというふうにお聞きしております。先ほどの川口ダム自然エネルギーミュージアムの整備ということも含めて、まだ利用していない、未利用のエネルギーの導入による地方創生事業ということもありますが、県内小水力の可能性調査を実施しているということなので、その進捗状況をお伺いしたいというふうに思います。実は、私が神山町の教育委員会に在席しておりましたときに、大方11年になろうかと思うんですが、町の将来エネルギーということで、新エネルギービジョンを策定するというようなことに携わらせていただきました。当然風力ですとか小水力、また木質バイオマス、あの当時はそれほど言われなかったように思うんですが、太陽光というようなこともあったんですが、太陽光については余り重点的にはしていなかったように思います。

そんな中で多分、ちょっと今、記憶が定かではないのですが、木質バイオマスがまだ一番ましかなという方向になったような気がするんですが、自分自身としては水力という、小水力のほうですぐ神山でもできるんじゃないかなというふうな思いがありました。というのも、ちょうど教育委員会が管理をしておりましてところの上分地区というところに古い発電所で神通発電所というのがあったわけなんです、それが文化的遺産として保存というように、教育委員会のほうが管轄をしておったと。そこを年に一、二回掃除に行ったり、木がかかってきたら木の枝を伐採したりという作業をしておりましたが、ちょうどタービンがあり、それを年に1回程度ですが、電力会社のほうからちょっと、確実に動くかどうかは別にして、油を差しに来たりとか、掃除に来たりとかいうふうにして触れておる。これって何かに使えるのかなという思いが私自身もありました。というのは、奥のほうにダムもあるし、ただ、導水路がもう朽ち果ててなくなっている。これを整備してダムから水を引いて、ちょうど上に貯水池があって、そこから水を落としてタービンを回すと、そういうふうなことで電力も起こせるのかなと。そして、これを使って、例えば夏の林間学習とか、その周辺地域の電力供給もできるんじゃないかなと。また、電気の起こるシステムという仕組みもそれぞれ勉強してもらえないかなというふうな、若干いろいろ空想をしておって、そこを電力会社のほうにも地域貢献を含めてこれって復活してもらえないかなというふうな話をしたんですが、相当お金がかかるというふうなことでありました。

そんなことで、今、県が進めようとしておるいろんな未利用エネルギーの導入であったり、川口ダム自然エネルギーミュージアムの精神とも若干合ってくるのかなというふうな気もいたしております。是非この小水力ということをしつかりと進めていただけたら有り難いなという思いからの質問でございまして、ちょっと繰り返しになりますが、現在の調査途上の進捗状況ということをお教えいただきたい思います。

湯浅電力課長

小水力発電導入可能性調査の進捗状況についての御質問を頂きました。小水力発電導入可能性調査につきましては、企業局が設置している技術支援相談窓口による技術支援の一環としまして小水力発電の導入を促進するため、昨年11月に小水力発電導入可能性調査業務の委託を行いました。それで、現在廃止発電所などの調査を進めているところでございます。

具体的な進捗状況といたしましては、主に机上で選定した県内14か所の候補地点の中から更に3か所に絞りまして、2月上旬からは、まずは神山町などにおきまして導入の課題の有無などについて現地調査を含め、更に詳しく調査を進めているところであります。今月末までにその成果をまとめる予定でございます。

岩丸委員

神山町という名前が出たので有り難いというか、うれしく思うわけなんですけど、最初は佐那河内村あたりでスタートしておるといようなこともお聞きしておりました。先ほどちょっと例を挙げさせてもらいました神通発電所も含めて、神山町の場合は鮎喰川が流れておって、それにいろいろな支流が流れ込んでおる中で、多少日照りが続いてもどんどん水が流れるというようにございまして、それがどの程度電力、電気を起こすのに役立つといえますか、能力があるのかなというふうなことも思うんですけども、今月末にその成果をまとめると、できあがるということでもあります。その導入に向けての課題がいろいろあるかと思うんですけども、どのようなことを想定されているのかお伺いします。

湯浅電力課長

小水力発電導入における課題についての御質問を頂きました。現在の候補地のうち、山間部の急傾斜地にあるものにつきましては、設置のときに技術上の課題が考えられます。それと、水力発電の規模、流量とかの関係で、規模が小さくなると出力に対する導入コストが高額となりますことから採算性が悪くなるということが考えられます。

さらに、導入に当たりましては、地元関係者との調整なども想定されるところです。

岩丸委員

大体以前の経験からしても相当コストがかかるなという思いはあるんですけども、是非その調査というか、自然エネルギー、特に小水力については活用してほしいなと、発展させてほしいなというふうな思いをしておるわけでありまして、今後とも調査の成果をどのように発展させていくのか、お伺いをしたいと思います。

湯浅電力課長

今後の調査結果の活用につきましては、4月中に調査の成果品の精査を局内で行うこととしております。導入可能性の高い有望な候補地点がありましたら、関係市町村に対し導

入に向けた調査結果の説明，発電計画の案などを示しまして技術支援を導入につながるようしっかり行ってまいりたいと考えております。

岩丸委員

是非進めていただきたいなと思うわけなんです，富山県で視察をさせていただきまして，あれも小水力かなというぐらいの規模，大きかったようなイメージがあるわけなんですけれども，自然エネルギーというか再生可能エネルギーの啓発のためだけではなく，本当の意味で，例えば災害時に非常用電源としても活用できるとか，いろんなプラスの面があると思います。是非今後とも企業局におかれては他部局とも連携しながら，積極的に今後とも取り組んでいただきたいということを要望して終わります。

丸若委員

ちょっと今質問を聞いていて思いついたことを質問させていただきます。

来月もう自由化になりますね。この間ちょっと担当課のほうで県のはどういうふうになるんだという話を聞いたら，平成26年からの施設で平成27年度から16で，全部で25，26の施設で既に契約して，四国電力外と契約しておるということを聞いたんです。企業局のほうで四国電力との来年度の売電料金はこうなりましたということを聞いているんですけど，四国電力との契約というのは単価以外に総量というやつと契約というものもあったんですか。

大塚電力課電気事業担当室長

今，四国電力との契約についての御質問でございますが，四国電力とは総額を2年間の契約なんですけれども，2年間に料金の総額について契約をいたします。それについて予定供給電力量というのがありまして，その電力量も予定している量は決まっております。それで契約するようになります。

丸若委員

県のほうの施設も自由化になっていって，それぞれのところでコスト削減ということで，いろいろな情報をやりながら入札をやったりとかするんでしょう。そうした場合にこれから発送電分離もこの前も聞いたんですけど，まだ不確定な要素も国のほうでもあるのかもわかりませんが，例えば，今の時点で新しい発電事業会社もどんどんできてきて，いろいろ商社が絡んで自由化の事業化をやっていこうというところがあるんですけど，例えば徳島県の発電事業について，よそから売ってくれないかという話はあるんですか。

大塚電力課電気事業担当室長

今，四国電力とは長期の，15年間の契約をしております，それで四国電力にその期間は売るということで，次の2年間もその料金の契約をしております。

丸若委員

その期間というのを最終がいつになるのかということと、それと、先ほどからあった小水力発電で漠然とイメージはできるところがあるけれども、それも四国電力との契約で電力量で買い上げてもらってということになるんですか。例えば、今までダムで決まっておる契約年数があったとして、新しい小水力ができたときの契約形態、売電するときの形態はどうなっていますか。

大塚電力課電気事業担当室長

まず、長期契約の終了年度の御質問でございますが、これは平成36年度末までとなっております。それと、新たに小水力をしたときの契約についてでございますが、これは固定価格買取制度というのがありますので、恐らくそちらのほうで契約するようになります。今の4発電所の契約とはまた別の契約になろうかと思えます。

丸若委員

わかりました。これから自由化になっていって、県の契約の状況もどうなんですかという話を聞いていったら、今のところ四国でターゲットにしてやるのが百六十何社かで、ただ入札に応札してくれるのはそのうちの1割いかないかという話もありました。それも恐らくこれからとう汰されるであろうということですし、四国電力自体が発送電分離の中でどういうふうになるのかが実際にわかりにくいところがありますから、平成36年末ということですが、恐らくこの時点までいったら電力状況がかなり変わっておるのではないかと思いますけれども、とにかくコスト削減も含めて、それと償却も含めて効率的な経営をしていただきたいということをお願いします。

杉本委員

たしか藍場浜の駐車場、赤字経営であったと思いますが、去年、上限を決めたりして料金改正をやって、新しい道を探すということであったと思いますが、現状、現在はどうなっているのでしょうか。

片岡経営企画戦略課政策調査幹

ただいま、藍場町地下駐車場の利用状況について御質問がございました。この駐車場でございますが、近年、郊外に大規模なショッピングセンターがオープンし、また、大阪市中心部に大規模な商業施設が相次いで開業しているということがございまして、ここ数年は右肩下がりと申しますか、減少が続いている状況でございました。

平成26年度は平成25年度と同等の利用台数でありましたが、何とかこれを改善する必要があるということで、企業局としましてよりピーターを確保するためのポイントカード事業であるとか、阿波踊りの練習者を対象にした夜間の定期割引のキャンペーン、これは夏場でございますけれども、そのほかに定期券の値下げでありますとか、先ほど委員がおっしゃいました平日の利用料金の上限制も今年の7月から開始しております。

その結果、2月末の利用状況でございますが、利用台数で前年度比111％となっております。

杉本委員

私の予想では減っていったおるといふ、こらと言えらと思つたんですが、利用料が増えてきたということですね。

片岡経営企画戦略課政策調査幹

料金収入についての御質問かと思ひます。これは速報値でございますけれども、同じく2月末までで収入が108％となっております。

杉本委員

私たちの年齢の者が新町や駅前を想像すると、日曜日の午後というのは、もう人で人という感じでしたが、昨日、実は年がよく似た者が5、6人集まって駅前で元気になっておりました。私の思い出話をしますと、いまだ想像ができません社会でして、私どもは藍場浜公園で毎年林業関係の祭りをしておるんですが、もう27年、繰り返してきておるんですが、最初は人が来過ぎて、10時頃までに物品が皆売れてしまつて、昼からすることがなくなつた。そんな状態だった。4、5年前にもうあその場所を変えるかという意見が出て、どこへ行くといったら人の集まりがいいぞということで板野のほうへ行こうかという話が出ていた。私にしたら思いがありますから、そごうをのぞきに行ったら恐らくずっと階を上まで行つても10人しか客がいなかった。お昼にですよ、そのような状態になってきていますから、周辺の駐車場、みんなほとんど大変苦しい経営をしているというのが実情でしょう。是非ともこまめな経営というのか、お役所仕事ではやり切れないような、やっていけないような状況になってきていることは長々と申すわけでもなくともおわかりのとおりです。是非ともせつかくの財産でございますし、せめて市内で企業局がどうにかしなければ余計寂しくなっていくんだらうと、頑張つていただきたいとエールを送らせていただきます。まさかもうけになってきているというような話が出てくるとは思っておりませんでした。よろしく願いして終わります。

井川委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

ただいま審査いたしました企業局関係の付託議案は、原案のとおり可決すべきものと決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

御異議なしと認めます。

よって企業局関係の付託議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

【議案の審査結果】

原案のとおり可決すべきもの（簡易採決）

議案第22号，議案第23号，議案第24号，議案第25号，議案第59号，議案第68号  
議案第89号，議案第90号

以上で、企業局関係の審査を終わります。

本年度最終の委員会でございますので、一言御挨拶を申し上げます。

酒池企業局長をはじめ、理事者各位におかれましては、常に真摯な態度をもって審査に御協力いただき深く感謝の意を表する次第でございます。

また、審査の過程において表明されました委員の意見並びに要望を十分尊重され、今後の施策に反映されますよう、強く要望してやまない次第でございます。

また、非常に不慣れな委員長でございますが、理事者をはじめ委員の皆様に御協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

終わりに当たりまして、皆様方には、ますます御自愛いただきまして、それぞれの場で今後とも県勢発展のため御活躍を頂きますよう祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

酒池企業局長

私のほうからも最後の委員会でございますので、一言お礼を申し上げます。

井川委員長さん、島田副委員長さんをはじめ、委員の皆様方には、この一年間、電気事業ほか3事業の管理運営につきまして、格別の御指導、御助言を頂きまして、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

また、今議会に提出させていただきました案件につきましては、原案のとおり御承認いただき、誠にありがとうございました。

委員の皆様から賜りました、様々な貴重な御意見、御提言を今後の企業戦略に充分生かし、さらに効率的な管理運営を心掛けますとともに、県民福祉の増進に寄与できますよう、一層の経営努力をしてまいりたいと考えております。

委員の皆様方には、今後とも、なお一層の御指導、御べんたつを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。お礼の御挨拶とさせていただきます。

一年間、どうもありがとうございました。

井川委員長

議事の都合により、休憩いたします。（11時19分）